# 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

### 1. 基本情報

2.2 Sept. 1.114.194							
■事業の担当課	保健福祉部福祉課			■担当係	係 障がい福祉係		
■評価事業名称	障がい者等生活支援事業						
■事業開始年度	平成19年度						
■評価事業コード	040300 - 079 ■会計区分 一般会計						
	■政策	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり					
■総合計画での	■基本施策	基本施策 02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援					
	■施策	04 障がい者の社会参加と自立への支援					
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策						
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務						
■法令等の名称	障害者総合支援法						
■関連計画の名称	北上市障がい者プラン'15						
■事 業 の■目的と概要	障がい者の日常生活の質的向上を図り、社会復帰を支援するため、日常生活上必要な訓練・指導等(講座、教室の開催)や本人活動支援を行う。						

# 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01 障がい者等 生活支援事 業	障がい者(児)	・視覚障害者生活訓練教室:3回開催、延べ参加者数15人 ・ろうあ者日曜教室:1回、参加者数30人・聴覚障害者生活訓練教室:全9回開催、延参加者数120人	・視覚障害者生活訓練教室:3回開催、延べ参加者数10人・ろうあ者日曜教室:1回、参加者数20人・聴覚障害者生活訓練教室:全9回開催、延参加者数116人

### 3. 投入コスト情報

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	246	251	253	242	
人 件 費	763	1,225	223	375	
その他(公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	1,009	1,476	476	617	

(単位:千円)

### 4. 評価指標等の状況

	指標 指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	訓練、講座等参加者数	153人	138人	152人	146人	
04	参加者一人当たりコスト	6.59千円	10.70千円	3.13千円	4.22千円	フルコスト/延べ参加者数

問題点·課題等

### 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

┌■目標達成状況 -

達成状況の分析

<ul><li>■目標達成状況</li><li>○ A. 順調</li><li>⑥ B. 概ね順調</li><li>○ C. 遅れている</li></ul>	障がい者の生活 成に寄与してい	の質を向上させる る。	という目的達	利用す いよう	者が限定されるので内容がマンネリ化しな 、常に検討が必要と考える。		
─1. 直接的な受益者の範囲 ── ○ 不特定多数に及ぶ	- ┌2. 事業廃.	止の影響 ―――	生じる		]・県・民間との競合関係の有無 — 類似の事業はない		
<ul><li>○ 特定されるが多数に及ぶ</li><li>⑥ 特定少数に限定される</li></ul>	<ul><li>● ある程度の不利益やリスクが生じる</li><li>○ 不利益やリスクは小さい</li></ul>				類似の事業はあるが競合はない     類似の事業があり競合する		
<ul> <li>4. 事業へのニーズの変化</li> <li>○ ニーズが高まっている</li> <li>④ ニーズは変わらない</li> <li>○ ニーズが低下している又はを</li> <li>一7. 他市町村に比較しての優位性</li> <li>○ 先進的またはユニークな事業</li> <li>⑥ 他と同程度の事業である</li> </ul>	<b>計致しない</b> E	5. 施策の改善需要 順位が高い 順位が中程度 順位が低い 実施主体の代替 民間委託等の拡 民間委託等の拡	生  充は難しい		6. 施策の優先度(市民意識調査) —		
○     ○ 遅れている事業である 		全部委託や実施			<ul><li>効率化や改善の余地が大きい</li></ul>		
■事業の見直し方策(評価項目2, 対象者が限定されており、参加者 施者と協働し実施内容を検討する	の固定化も見られ		○ I.		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		